

小平市地域包括ケア推進計画策定のためのアンケート調査集計速報

1 調査の方法

(1) 調査期間

平成 28 年 11 月 21 日から 12 月 21 日まで

(2) 調査対象

①一般高齢者アンケート

平成 28 年 11 月 1 日現在、小平市にお住まいの 65 歳以上の高齢者

②介護保険サービス利用状況アンケート

介護保険の在宅サービスを利用されている方（平成 28 年 9 月時点）

③介護保険サービス利用状況アンケート

介護保険の施設・居住系サービスを利用されている方（平成 28 年 9 月時点）

④介護保険サービス利用状況アンケート

介護保険サービスを利用されていない方（平成 28 年 9 月時点）

⑤介護支援専門員（ケアマネジャー）アンケート

市内居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）

⑥介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

平成 28 年 11 月 1 日現在、小平市にお住まいの 65 歳以上の高齢者

(3) 抽出方法

①⑥：住民基本台帳より無作為抽出

②③④：平成 28 年 9 月時点において、要支援・要介護認定を受けている被保険者

⑤：市内居宅介護支援事業所

(4) 調査方法

配布・回収とも郵送

2 回収状況

	種類	配布数	回収数	回収率
①	一般高齢者アンケート	3,000	1,885	62.8%
②	在宅サービス利用者	2,100	1,196	57.0%
③	施設・居住系サービス利用者	900	409	45.4%
④	介護保険サービス未利用者	900	452	50.2%
⑤	介護支援専門員アンケート	123	70	56.9%
⑥	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000	2,210	73.7%
合計		10,030	6,222	62.1%

3 調査結果の概要

(1) 一般高齢者アンケート

問9 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

～ かかりつけ医は8割半ば、かかりつけ歯科医は7割半ば、かかりつけ薬局は6割

かかりつけ医では「ある」が86.6%、かかりつけ歯科医では「ある」が76.7%、かかりつけ薬局では「ある」が61.3%となっています。

問13 介護予防事業への参加意向 ～ 「運動機能の向上」が最も多い

関心が高かった介護予防事業は、「運動機能の向上」が45.5%で最も多く、次いで「認知症予防」が43.0%、「食生活（栄養等）の改善」が36.8%、「尿失禁予防」が31.1%、「口腔機能（嚥む・飲み込む）の向上」が28.7%、「高齢期のうつ予防」が28.6%、「閉じこもり防止」が23.7%となっています。

問15 認知症になっても地域で、生活するために必要なこと

～ 「早期発見・早期診療」が最も多い

「認知症の早期発見・早期診療のしくみ」が64.0%で最も多く、次いで「認知症を予防する取り組み」が53.0%、「認知症の人を支える施設やサービス」が49.6%、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること（認知症サポーター養成講座など）」が49.1%となっています。

問21 福祉情報の入手先 ～ 「市報こだいら」が最も多い

「市報こだいら」が78.5%で最も多く、次いで「新聞・雑誌・書籍」が41.6%、「テレビ・ラジオ」が37.2%、「市のパンフレットなど」が34.4%となっています。

問22 相談窓口の認知状況

～ 「地域包括支援センター」が7割、「権利擁護センターこだいら」が3割

相談窓口を知っている人は「地域包括支援センター」が70.1%、「権利擁護センターこだいら」が30.6%となっています。地域包括支援センターの認知度は前回より9.6ポイント増加しています。

問30 地域のつながり度合い ～ 地域とのつながりを感じている人は5割半ば

「少し感じる」が41.3%で最も多く、次いで「あまり感じない」が24.9%、「とても感じる」が14.3%、「感じない」が12.9%となっています。

問43 利用者負担が一部2割負担になったことへの評価 ～ 「妥当だと思う」が最も多い

「妥当だと思う」が41.7%で最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が19.7%、「利用者負担はもっと増やすべき」が6.6%となっています。

問 44 介護が必要になったときの希望 ～ 「自宅で介護」が5割強

「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が36.5%で最も多く、次いで「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が14.8%、「特別養護老人ホームに入所したい」が10.6%、「高齢者向けの賃貸住宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が6.9%となっています。

(2) 介護保険サービス利用状況アンケート

在宅サービス利用者

問 10 普段、介護している方 ～ 「配偶者」が最も多い

「配偶者」が33.0%で最も多く、次いで「子」が29.0%、「介護者はいない」が13.3%となっています。

問 14 介護者（家族・親族）の就労状況 ～ 働いている方は3割強

「働いていない」が62.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が14.4%、「正社員として働いている」が9.0%となっています。

問 15 介護をするにあたっての働き方の調整 ～ 調整をした方は3割半ば

「特に行っていない」が57.9%で最も多く、次いで「介護のために、仕事を辞めた」が10.1%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が9.9%となっています。

問 19 今後の介護者支援に必要なこと ～ 「緊急時の対応についての支援」が最も多い

「緊急時の対応についての支援」が37.5%、「短期入所（ショートステイ）の充実」が30.4%、「入所施設の整備・増設（特別養護老人ホームなど）」が29.7%となっています。

問 20 今後、自宅で暮らし続けるために必要なこと

～ 「短期の宿泊ができる多機能型の施設」が最も多い

「住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり、短期の宿泊ができる多機能型の施設」が58.9%、「訪問診療などの自宅で医療ケアを受けられる体制」が42.8%、「身近な場所での転倒・骨折予防の体操などができる機会と場所」が19.0%となっています。

問 31 地域密着型サービスの利用意向

～ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多い

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が26.0%で最も多く、次いで「小規模多機能型居宅介護」が21.8%、「地域密着型特別養護老人ホーム」が21.1%、「地域密着型通所介護」が20.1%となっています。

施設・居住系サービス利用者

問 7 入所している施設の所在地 ～ 「小平市内」が最も多い

「小平市内」が 53.9%で最も多く、次いで「近隣の市（立川市、小金井市、東村山市、国分寺市、東大和市、東久留米市、西東京市）」が 19.9%、「上記以外の東京都内の区市町村」が 16.4%となっています。

問 8 暮らしている居室の種類 ～ 「多床室」が最も多い

「多床室（2人部屋・4人部屋等）」が 41.4%で最も多く、次いで「ユニット型個室」と「その他の個室」がそれぞれ 28.4%となっています。

問 10 現在の施設に入所するまでの待機期間 ～ 「1か月未満～3か月程度」が最も多い

「1か月未満～3か月程度」が 53.4%で最も多く、次いで「1年以上」が 20.6%、「3か月～半年程度」が 11.8%、「半年～1年程度」が 11.0%となっています。

問 14 施設利用料の負担感 ～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

「このくらいの負担はやむを得ない」が 63.2%で最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 20.1%、「あまり負担に思わない」が 6.9%となっています。

問 17 在宅生活に戻る場合の課題 ～ 「家族だけでは、十分な介護が難しい」が最も多い

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 69.9%で最も多く、次いで「夜間の介護や見守りに支障がある」が 60.8%、「緊急時の対応に不安がある」が 55.6%、「住まいに支障がある」が 53.2%となっています。

介護保険サービス未利用者

問 10 普段、介護している方 ～ 「配偶者」が最も多い

「配偶者」が 30.5%で最も多く、次いで「子」が 24.3%、「介護者はいない」が 24.1%となっています。

問 14 介護者（家族・親族）の就労状況 ～ 働いている方は3割強

「働いていない」が 59.9%で最も多く、次いで「正社員として働いている」が 12.6%、「パート・アルバイトとして働いている」が 9.9%、「自営業・経営者・フリーランス等で働いている」が 7.3%となっています。

問 15 介護者（家族・親族）の働き方の状況 ～ 働き方を変えた人は約2割

「特に行っていない」が 63.0%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 7.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」と「介護のために、仕事を辞めた」がそれぞれ 4.2%となっています。

問 21 介護保険サービスを利用していない理由～ 「まだ利用するほどでもない」が最も多い

「特にまだサービスを利用するほどでもないため」が 53.8%で最も多く、次いで「家族などに介護してもらっているため」が 26.5%、「入院中であるため」が 10.6%、「利用したいが、サービスの利用方法がわからないため」が 9.1%となっています。

問 23-2 地域密着型サービスの利用意向

～ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多い

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 19.7%で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」と「地域密着型特別養護老人ホーム」がそれぞれ 17.3%、「小規模多機能型居宅介護」が 15.3%となっています。

(3) 介護支援専門員アンケート

問 4 経験年数 ～ 5年以上の経験者が約7割

「5年以上」が 35.7%で最も多く、次いで「10年以上」が 32.9%、「3年以上」が 22.9%となっています。

問 16 認知症の人の状況

～ 「本人の意思確認が困難」、「サービスを利用してもらえない、拒否がある」が最も多い

「本人の意思確認が困難」と「サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある」がそれぞれ 62.9%で最も多く、次いで「薬の飲み間違いがあつて、服薬管理ができない」が 58.6%、「医療機関を受診しない」と「家族が認知症であることを認めない」がそれぞれ 44.3%となっています。

問 18 家庭内における高齢者虐待の事例経験 ～ 経験したことがある人は約7割

「ある」が 72.9%、「ない」が 25.7%となっています。

問 23 在宅療養者への支援における医療・介護の連携

～ 連携しているが6割、不十分が3割強

「ある程度連携している」が 60.0%で最も多く、次いで「連携が不十分である」が 32.9%、「ほとんど連携していない」が 1.4%となっています。

問 29 ケアマネジメントをする上での問題

～ 「作成しなければならない書類が多い」が最も多い

「作成しなければならない書類が多い」が 90.0%で最も多く、次いで「本人の経済的な理由で必要なサービスを組み入れられない」が 55.7%、「介護保険外サービスに関する情報が少ない」が 34.3%、「望ましいサービスを提案しても、本人や家族の理解を得られない」が 32.9%となっています。

問 33 業務のレベルアップのため行っていること

～ 「ケアマネ連絡会への参加」が最も多い

「ケアマネ連絡会への参加」が 70.0%で最も多く、次いで「事業者連絡会などへの参加」と「外部研修への積極的な参加」がそれぞれ 35.7%、「自主的な勉強会の実施・参加」が 25.7%となっています。

問 35 市が力を入れるべきこと

～ 「特別養護老人ホームなどの介護施設の整備」が最も多い

「特別養護老人ホームなどの介護施設の整備」が 30.0%で最も多く、次いで「地域の人のつながりづくりや、見守り活動の促進」が 27.1%、「認知症に関する施策の充実」と「家族介護の負担を軽減する支援策の充実」がそれぞれ 25.7%となっています。

(4) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 7 経済的に見た現在の暮らしの状況 ～ 経済的に苦しい人は2割半ば

「ふつう」が 58.8%で最も多く、「やや苦しい」が 21.4%、「ややゆとりがある」が 10.5%となっています。

問 11 過去1年間の転倒経験 ～ 転倒経験のある人は2割半ば

「ない」が 74.0%で最も多く、「1度ある」が 19.1%、「何度もある」が 6.1%となっています。

問 34 地域での活動等の参加者としての意向 ～ 参加したいと思う人は6割半ば

「参加してもよい」が 55.6%で最も多く、「参加したくない」が 29.0%、「是非参加したい」が 10.5%となっています。

問 35 地域での活動等の実施者としての意向 ～ 参加したいと思う人は約4割

「参加したくない」が 53.2%で最も多く、「参加してもよい」が 37.6%、「是非参加したい」が 3.6%となっています。

問 42 現在の幸せ度 ～ 幸せ度が7点以上は6割半ば

「8点」が 24.4%で最も多く、次いで「5点」が 17.4%、「10点」が 16.2%となっています。

問 47 現在治療中、または後遺症のある病気 ～ 病気を持っている人が約8割

「高血圧」が 40.3%で最も多く、次いで「目の病気」が 18.9%、「高脂血症（脂質異常）」が 15.5%、「糖尿病」が 12.0%となっています。「ない」は 16.4%でした。